



ケベック・シティーの昼と夜



ケベック・シティーはカナダのケベック州の州都で、ケベック州の中ではモントリオールに次いで人口が多い街です。市内の旧市街地は世界遺産に登録されていて、カナダでは有名な観光地です。そんなケベック・シティーの昼と夜についてノンフィクションで書いてみたいと思います。

昼



昼間のケベック・シティーはまさに観光地という感じです。元々フランス領だったため建物は中世ヨーロッパ調でとても美しいです。また、公用語もフランス語なので店の看板や標識などもすべてフランス語です。昔は城塞都市だったため、街は坂が多く入り組んでいて、城壁や大砲などが残っています。と

にかくきれいな街でついつい写真を撮をたくさん撮ってしまいました。昼間はゆったりとした楽しい観光でした。

しかし、このとき僕らはまだ知りませんでした、夜のケベック・シティーの真実を……。



夜

夜のケベック・シティーで歩いていた僕らは坂を上ったところにある小高い広場に着きました。右にはライトアップされた建物、左を見ればきれいな夜景が広がっていました。ここで僕らはある異変に気づきます。

「あれ、ここリア充しかおらんやん!？」

どこを見てもカップルばかり、そう、夜のケベック・シティーはカナダ屈指のリア充スポットだったのです。

※リア充とは、リアル(現実)の生活が充実している人のことで、そこから転じて彼氏又は彼女がいる人のことを指す場合にも使われる。



こんな場所にリア充ではない男二人で行ったので、楽しいはずの観光がセンチメンタル・ジャーニーになってしまいました(笑)

非リア充の皆さん、夜のケベック・シティーにはくれぐれもご注意ください。

